

主催 富山県美術連合会、富山県美術館

ご挨拶

富山県美術連合会では、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門に所属する作家が、部門を超えて互いに切磋琢磨する場として、毎年秋、本年は11月末に「富山県芸術祭美術連合展」を富山県民会館において開催しております。

そして、このたび、富山県美術館および富山県美術連合会の主催により、富山県美術館1階TADギャラリーにて選抜作家展「富山県美術連合会作家展2025 3つのシンフォニー」を開催いたします。

本展は、平成30年3月から始まり、前期と後期に分かれて6分野の作家たちを継続的に紹介しています。今年度は、前期は洋画部門の谷内徹、彫刻部門の加茂為男、写真部門の澤田実、後期は日本画部門の石田敬真、工芸部門の池上猛、書部門の経澤菁汀、6名の作家それぞれの自選による近作、代表作をご覧くださいます。

各分野において独自の境地を切り拓いた出品作家たちの表現者としての世界観や、エンターテインメントとしての芸術等、ひとつの空間のなかで互いに高めあい響きあう様子を実際に会場で感じていただければと思っています。

また本展を開催するにあたり、ご協力をいただいた関係の皆様に心より感謝いたします。

令和7年10月2日

富山県美術連合会会長 丸山 幸一

富山県美術連合会

<運営についての基本理念>

富山県美術連合会は、県内美術連盟(日本画家連盟、洋画連盟、彫刻家連盟、工芸作家連盟、書道連盟、写真連盟)の6団体の会員(約1,000名)で構成されています。

その基本理念は、県内の美術部門を結集し、美術作家一人ひとりが自主的研鑽向上に努め、相互の理解と美術活動の振興発展に寄与するとともに、本県の推進する文化事業に積極的に参画協力することを目的としています。

<富山県美術連合会の歩み>

- | | |
|-------------|--|
| 昭和16年(1941) | 富山県工芸美術作家協会が約80名の工芸作家で発足し「浅野廉」工業試験場長が理事長に就任(県工業試験場内) |
| 昭和27年(1952) | 富山県美術連合会とし日本画、洋画、彫刻、工芸、書の5部門で結成。「北村利正」工業試験場長が理事長に就任 |
| 昭和32年(1957) | 写真連盟が連合会に参加 |
| 昭和51年(1976) | 改組 富山県美術連合会として、富山県工業試験場から作家中心の連合体に生まれ変わり、会長に工芸作家の「村田吉生」が就任 |

- | | |
|-------------|---|
| 昭和60年(1985) | 第34回富山県芸術祭 美術連合展(県民会館)で現在のように6連盟が同時に展示できるようにした |
| 昭和62年(1987) | 第36回富山県芸術祭 美術連合展開催期間に著名人を呼び美術セミナーを開催(以後平成23年まで18回実施) |
| 平成13年(2001) | 第50回富山県芸術祭 美術連合展に併せ富山県美術連合会創立50年祝賀会を開催
富山県美術連合会創立50年記念誌「50年の歩み」発刊 |
| 平成14年(2002) | 第2回国際友好交流展 in デブレツェン(ハンガリー)31名出品、5名派遣
平成18年、平成22年も出品及び派遣 |
| 平成16年(2004) | 第3回国際友好交流展遼寧省瀋陽市(中国)28名出品、9名派遣
平成19年(盤錦市)出品及び派遣 |
| 平成17年(2005) | 第54回富山県芸術祭 美術連合展に併設し第4回国際友好美術交流展を県民会館で開催(ハンガリー・ハイドゥービハール県、中国遼寧省、韓国江原道より参加) |
| 平成21年(2009) | 第58回富山県芸術祭 美術連合展に併設し第8回国際友好美術交流展 in Toyama 開催(ハンガリー、中国、韓国より参加) |
| 平成23年(2011) | 第60回富山県芸術祭 美術連合展に併せ富山県美術連合会創立60年祝賀会を開催
記念誌「富山県美術連合会創立60年記念10年の歩み」発刊 |
| 平成24年(2012) | 第61回富山県芸術祭 美術連合展に併設し「とやま国際アートキャンプ2012作品展」開催(オーストラリア、チェコ、ハンガリー、インドネシア、韓国、ポーランド、アメリカ、福島県より参加) |
| 平成27年(2015) | 第64回富山県芸術祭 美術連合展に併設し「とやま国際アートキャンプ2015作品展」及び「富山県・遼寧省友好写真交流展」開催 |
| 平成30年(2018) | 第67回富山県芸術祭 美術連合展に併設し「とやま国際アートキャンプ2018」・「韓国江原道女流書藝家展とやま2018」開催 |
| 令和3年(2021) | 第70回富山県芸術祭 創立70年記念美術連合展に併せ創立70年記念式典を開催
記念誌「富山県美術連合会創立70年記念10年の歩み」発刊 |
| 令和4年(2022) | 第71回富山県芸術祭 美術連合展に併設し「とやま国際アートキャンプ2022作品展」開催 |
| 令和6年(2024) | 第73回富山県芸術祭 美術連合展に併設し「韓国江原特別自治道女流書藝家とやま2024」開催 |

これまでの「富山県美術連合会作家展」 (3つのシンフォニー)

平成29年度 会期：平成30年3月8日～4月17日
展示作家：藤井 武(洋画)、宇津 孝志(彫刻)、高岡由美子(工芸)

平成30年度 会期：平成31年3月7日～4月16日
展示作家：石坂 恵子(日本画)、江幡 春濤(書)、中尾 譲治(写真)

令和元年度 会期：前期 令和元年10月3日～11月3日
後期 令和元年11月12日～12月12日
展示作家：前期 大門 清廣(洋画)、松田 真治(彫刻)、一ノ谷敏治(写真)
後期 砂子阪政巳(日本画)、石井 駿(書)、志観寺範從(工芸)

令和2年度 会期：前期 令和2年10月3日～11月3日
後期 令和2年11月7日～12月6日
展示作家：前期 西藤 哲夫(日本画)、長谷川総一郎(彫刻)、鈴木 孤雲(書)
後期 吉川 信一(洋画)、前川 正治(工芸)、高橋 鐵夫(写真)

令和3年度 会期：令和3年10月1日～12月18日
「創立70年記念 富山県美術連合会作家展2021-美の響き-」
第1期 彫刻家連盟 10月1日～10月11日
第2期 写真連盟 10月14日～10月24日
第3期 書道連盟 10月28日～11月7日
第4期 洋画連盟 11月11日～11月21日
第5期 日本画家連盟 11月23日～12月4日
第6期 工芸作家連盟 12月7日～12月18日

令和4年度 会期：前期 令和4年10月6日～11月8日
後期 令和4年11月10日～12月13日
展示作家：前期 森 弘(洋画)、山本 清(工芸)、堀田 信一(写真)
後期 坂田 潤世(日本画)、高橋 勇(彫刻)、畠山 耕雪(書)

令和5年度 会期：前期 令和5年10月5日～10月31日
後期 令和5年11月2日～11月28日
展示作家：前期 温井 喜央(日本画)、齋藤 尤鶴(彫刻)、石井 克代(書)
後期 萩中 幸雄(洋画)、上森 四郎(工芸)、近藤 顕子(写真)

令和6年度 会期：前期 令和6年10月3日～10月29日
後期 令和6年10月31日～11月26日
展示作家：前期 柳田 邦男(洋画)、熊谷喜美子(彫刻)、津田 海仙(書)
後期 前 都志子(日本画)、谷口 信夫(工芸)、平井 勝美(写真)



TOWER I

歳を経るがごとく、一つ一つのものが、積み重ねられてゆく。危うくも不思議な形として…。

略歴

1949 年 富山県富山市生まれ
 1973 年 新潟大学教育学部美術科 卒業(3 月)、美術教諭着任(4 月)
 1975 年 富山県美術展 県展賞(以後 2 回)
 1983 年 自由美術協会 会員推挙
 明日を拓く美術展 優秀賞(同 1984 年)
 1986 年 公募：日本海美術展(富山県立近代美術館) 入選(以後 5 回)
 1989 年 個展(東京銀座 美術ジャーナル画廊)
 1990 年 新鋭選抜とやま 20 人展(同 1991 年)
 2010 年 ハンガリー美術キャンプ 参加(同 2014 年)
 2011 年 ポーランド美術キャンプ 参加(以後 3 回)
 2013 年 富山県美術展 審査員(以後 4 回)
 ポーランド・日本 洋画 4 人展(ギャラリー WAY)
 2018 年 富山県洋画連盟 委員長就任(～ 2019 年)
 2021 年 富山県功労表彰
 2023 年 第 87 回自由美術展 顕光賞
 現 在 自由美術協会 会員
 富山県洋画連盟 常任運営委員
 富山県美術連合会 理事

谷内 徹



山ガール II(部分)

近年、女性のトレッキングや山登りブームの中で、この女性達の山に立つ姿をイメージして制作した作品。

略歴

1946 年 富山県南砺市(旧井波町)生まれ
 1968 年 太平洋美術学校(東京)彫刻科 卒業
 第 23 回富山県美術展 初出品入賞(以後連続入賞)
 第 11 回日展初出品入選(以後 20 回入選)
 1970 年 日本彫塑会会員に推挙
 1971 年 第 1 回日彫展 日彫賞
 第 26 回富山県美術展 大賞(同 1972 年)
 1975 年 富山県美術展審査員(以後 9 回)
 現代とやまの秀作美術展招待出品(富山県民会館)
 1982 年 井波彫刻四代目蕃山を襲名
 1987 年 第 21 回日展 特選(同 1992 年)
 2001 年 日展会員 日本彫刻会運営委員
 2002 年 第 3 回北日本美術大賞展招待出品(富山県民会館)
 2003 年 いなみ国際木彫刻キャンプ 03 実行副委員長就任
 2004 年 富山県功労表彰
 2006 年 富山県彫刻家連盟委員長就任
 2012 年 富山県美術連合会副会長就任
 2013 年 国宝出雲大社遷宮修復事業参加
 2019 年 北陸日彫会副会長就任
 現 在 日展 会員
 富山県美術連合会 参与
 富山県彫刻家連盟 常任相談役
 井波彫刻協同組合 顧問

加茂 為男



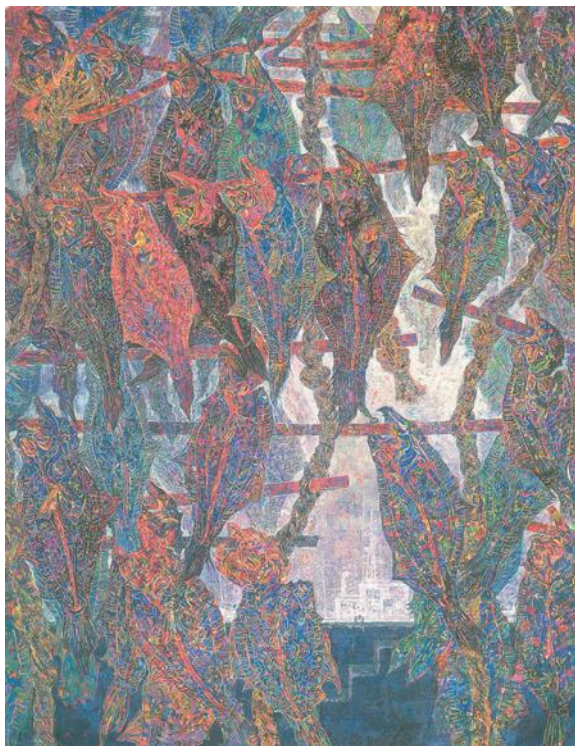
雨の高野山

高野山では、千年以上前から「壇上伽藍 朝のお勤め」や「生身供」を行い「奥の院参道のお地藏様」を守り続けています。
 この作品は、義母の納骨で訪れた「雨の高野山」その一日を写しました。

略歴

1960 年 富山県高岡市生まれ
 1995 年 第 50 回富山県美術展 県展賞(初入賞)
 1996 年 第 51 回富山県美術展 県展奨励賞(同 2002 年)
 2006 年 第 61 回富山県美術展 県展賞(同 2008 年)
 2010 年 第 65 回富山県美術展 審査員(～第 67 回)
 「フォトクラブみちくさ」設立
 2014 年 第 69 回富山県美術展 審査員(～第 71 回、第 74 回)
 2018 年 富山県写真連盟 幹事・庶務就任
 2020 年 富山県写真連盟 副委員長就任(～ 2023 年)
 2024 年 富山県写真連盟 委員長就任(～現在)
 現 在 富山県写真連盟 委員長
 富山県美術連合会 常任理事

澤田 実



干し鰯

浜辺に吊るされた鰯は、太陽と風の力によって時間と共に変化していく。偶発的に出来上がった、そのフォルムはとても面白く、心ときめいた。

略歴

1963 年 富山県富山市生まれ
1993 年 第 48 回富山県美術展 県展大賞(同 1997 年)
第 25 回日展 初入選(以後 5 回)
富山市美術展 市展賞(同 1994 年)
1994 年 第 29 回日春展 初入選(以後 5 回)
2003 年 第 58 回富山県美術展 審査員(以後 4 回)
2020 年 富山県日本画家連盟 委員長就任(～ 2023 年)
2023 年 富山市美術作家連合会 会長就任
2024 年 富山県功労表彰
現 在 富山県美術連合会 常任理事
富山県日本画家連盟 常任相談役
富山市美術作家連合会 会長

石田 敬真



銀河遊星

海、山、空そして壮大な宇宙、そこにはロマンがあり私の作品制作のテーマです。陶芸を通して造る楽しさを伝えたい。

略歴

1954 年 富山県南砺市(旧福光町)生まれ
1977 年 名古屋芸術大学 美術学部工業デザイン科 卒業
1989 年 新綜工芸会展 大賞(以後 2 回)
1997 年 第 7 回日工会展 日工会賞(日工会賞 2 回、日工会奨励賞 1 回)
1998 年 第 53 回富山県美術展 県展賞(県展賞 2 回、奨励賞 4 回)
第 30 回日展 初入選(以後 24 回入選)
2008 年 第 18 回日工会展 日工会会員賞(以後 6 回)
2009 年 第 64 回富山県美術展 審査員(以後 4 回)
2013 年 第 23 回日工会展 審査員(以後 4 回)
2017 年 第 27 回日工会展 日工会会員大賞
第 2 回日本陶磁協会現代陶芸奨励賞展 入選
2018 年 靖國神社 御創立 150 年記念事業で「さくら陶板」制作
2020 年 富山県工芸作家連盟 委員長就任(～ 2021 年)
2023 年 富山県功労表彰
現 在 富山県美術連合会 理事
富山県工芸作家連盟 常任相談役
日展 会友
工芸美術日工会 評議員

池上 猛



織田高暢の句

最近は若い時と違ってダラダラと書かないことにした。イメージを膨らませ、墨をつくり、紙に馴染むよう、一気呵成に書くことを心がけている。

略歴

1962 年 富山県魚津市生まれ
1982 年 大東文化大学中国文学科入学
上京、文化功労者・大平山濤に師事
1986 年 第 38 回毎日書道展 毎日賞
第 18 回日展 初入選
1989 年 第 44 回富山県美術展 県展大賞
2008 年 富山県部門功労表彰
2010 年 富山県書道連盟委員長就任
2013 年 第 49 回創玄展 東京都知事賞
現 在 富山県美術連合会 理事
富山県書道連盟 常任相談役
日展 会友
毎日書道展 審査会員
富山大学人文学部 非常勤講師
魚津市文化協会 会長
一般社団法人にいかわ学びの森みらい会議 代表理事

経澤 菁汀